



# 大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2025年4月2日(水)  
第26巻 第36号

通巻第1110号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail: [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



## 本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世  
唱 和 四つのテスト  
ソング 奉仕の理想  
会長挨拶 会長 石田 英世  
幹事報告 幹事 高野 祐二  
プログラム 理事会報告

## ニコニコBOX

なし

例会日	3月30日	3月12日
会員数	29	29
出席	9	18
欠席	20	11
M U	0	0
免除	8	5
出席率	59%	79%

## 会長挨拶

石田 英世 会長

本日は花見移動例会です。  
みやび乃 Garden 函屋星野さんの場所をお借りしてバーベキューパーティーを行いました。25周年記念式典も無事終わり、桜の花とおいしい焼き肉とお酒を大いに楽しみました。

さて、お花見は日本の古い伝統であり、その起源は非常に遡ることができます。最初に「お花見」として記録されたのは、奈良時代にさかのぼります。この時代、人々は特に梅の花を愛でることに注力していました。

平安時代になると、桜がお花見の主役になります。貴族たちは桜の下で宴会を開き、詩歌を詠んだり、音楽を楽しんだりしていました。

奈良時代の「梅」から、平安時代になって「桜」へと変わっていったわけですが、なぜ桜だったのか？

奈良時代には梅が人気であったものの、日本人が桜に全く興味がなかったというわけではありません。なにしろ桜は日本古来の花なわけですから、昔から桜には神が宿ると考えられておりました。例えば「サクラ」の語源として言われている一つの説に、山や田の神である「サ神」と神が鎮まる座を意味する「クラ」という言葉を付け足して、サ神が鎮座する木ということで「サクラ」と呼ぶようになった、というのがあります。

この考えから、桜が咲くということはすなわち「田の神様が山から降りてきた証拠」であると考え、桜の開花を目印に田植えを開始するというのをしていました。

あるいは、古事記に登場する女神であるコノハナサクヤヒメの名のうちの「サクヤ」がなまって「サクラ」という風になったともいわれております。

鑑賞するというよりは神の依代と考えられていた桜ですが、遣唐使が廃止され梅の文化が廃れたことで、日本古来の文化を改めて見直そうという方向へと変わっていったのでしょう。

あるいは「三日見ぬまの桜かな」と歌われるように、うっかりするとすぐ散ってしまうという儚さ、あるいは「この時期に見ないともったいない」と思わせることで人々の心を掴んだのかもしれない。

江戸時代、それまで、江戸の花見の名所といえば上野の山だったのですが、山内にある寛永寺が歴代将軍の菩提寺となると、飲めや歌えのどんちゃん騒ぎがなくなってしまいました……。

8代将軍徳川吉宗は享保2年（1717）から、江戸東郊の隅田川縁（墨堤）への桜の植樹を開始し、同5年（1720）からは、江戸北郊の飛鳥山にも桜を植樹しは



## 4/29(火)開催 ラーニングセミナー

登録9:00 点鐘10:00

プログラム：第一部 本会議（全体会議）

10:00～12:00

第二部 部会別協議会

13:00～16:00

部会にて閉会

会場：K P東京ベイ幕張 幕張ホール

千葉市美浜区ひび野2-3

TEL：043-296-1112(代表)

開催部会：会長部会/幹事部会/ラーニング

ファシリテーター部会

(理念 (DEI 含む)、ラーニング、RLI)

管理運営部会

(会員増強・基盤向上、広報・公共イメージ向上、フェロシップ・親睦活動)

奉仕部会 (職業、社会(環境含む)、国際)

青少年部会(ロータリー希望の風含む)

(インターアクト、青少年交換、RYLA、ロータアクト)

ロータリー財団 / 米山記念奨学

以上8部会

登録者名 (敬称略)

吉原、渡邊、小高、小倉、高山

大越、星野、高野、石田、斉藤 (幸)

長谷川、泉、斉藤 (敏)、清宮 (建)

佐藤 15名

都合がつかない場合は、吉原会長エレクトまでご連絡下さい。

## 新年度 こども食堂開催日程

■ 5月25日(日)

■ 11月30日(日)

■ 26年2月1日(日)

■ 26年3月29日(日)

場所 山武青い鳥工房

開催時間 11:00～12:30

## 受入れ奨学生について

今月より当クラブでお預かりする奨学生のサジャーニディルハーラーさんは、米山学友サジーさんの姪御さんのようです。

会員の皆さん宜しく願いいたします。

じめた。以後、江戸っ子は隅田川縁や飛鳥山に繰り出し、心ゆくまま花見そして飲食を楽しむようになるが、隅田川縁では副産物のような形で、長命寺桜餅という名物まで生まれた。

飛鳥山の場合は、元文2年(1737)2月に、吉宗が家臣を連れて酒宴を催している。将軍自ら範を垂れ、飛鳥山での花見を推奨したのだ。花を愛でるだけでなく、その際の飲食も勧めたことが窺えるが、翌年には花見客が飲食を楽しめるよう、水茶屋54か所の設置を許可する。

その結果、飛鳥山は桜の名所として賑わいに拍車が掛かり、観光地化が進展した。後には、高級な料理茶屋も山麓に立ち並ぶほどになる。

ちなみに、吉宗の頃の桜はサトザクラ、キクザクラ、ヤマザクラ、エドヒガンであった。現在、最も植栽されているソメイヨシノは、幕末に入ってから登場した品種である。このようにして庶民でも花見が楽しめるようになり、かくしてお花見は酒を飲みながらのどんちゃん騒ぎと化していった、現在に至っています。

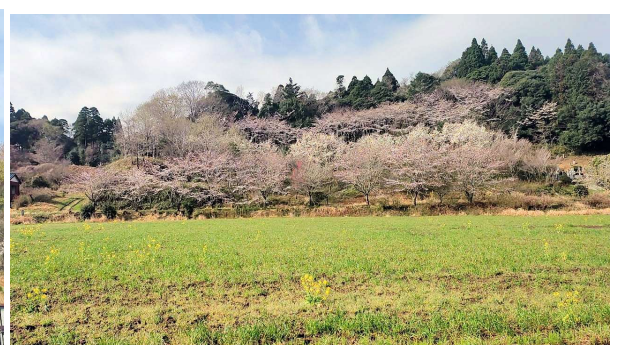
2025年3月30日開催

花見移動例会 みやび乃 Garden 函屋星野にて



ご投稿

吉原 久男 会員より



桜の木を背景に吉原会員手作りツリーハウスと自宅から見える山桜